

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 排液バッグ 70308000

MMI 胆汁・排液バッグ

再使用禁止

*【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

再使用禁止、再滅菌禁止。

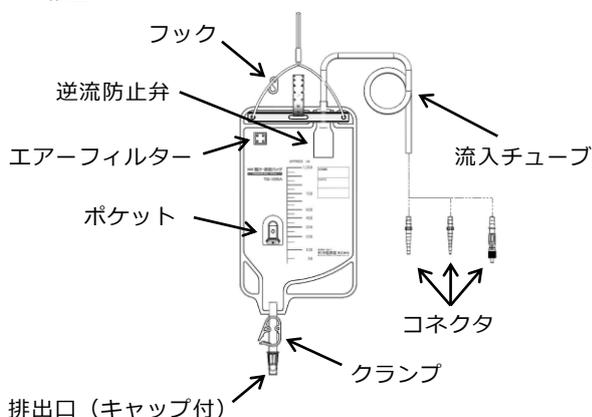
**【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、胆汁・排液バッグとコネクタで構成され、胆汁・排液バッグには、容量の違いによる数種がある。

代表例

<縦型>



2. 原理

ドレインチューブ、カテーテル等に接続し、自然落下により体外に除去された排液を貯留する。

【使用目的又は効果】

ドレインチューブを接続するプラスチック製の排液バッグをいう。腹腔ドレインに接続し、腹腔から血液、膿状分泌物を除去するために用いる。

*【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) 本品を滅菌包装より無菌的に取り出す。
- 2) クランプを閉じキャップを付けたまま、排出口をポケットに差し込む。
- 3) 流入チューブに、適切なコネクタを隙間がなくなるまで押し込み、ドレインチューブ、カテーテル等に確実に接続する。
- 4) 本品を患者より低い位置になるように設置し、排液を貯留させる。
- 5) ポケットから排出口を取り出してキャップを外し、クランプを開いて排液を排出する。
- 6) 使用後は、ドレインチューブ、カテーテル等から取り外す。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

- 1) 使用に際しては無菌的に取り扱い、すべての操作は汚染防止にじゅうぶんな配慮をしたうえで行うこと。

- 2) 使用前にクランプが確実に閉じていることを確認すること。
- 3) クランプの開閉操作は確実にすること。
- 4) 使用中は縦に吊りしたままの状態が保てるようにし、傾けたり、激しく動かしたりしないこと。
- 5) 使用中は接続部のゆるみ、液漏れ、詰まり及び破損等がないことを定期的を確認すること。
- 6) チューブ等に排液が貯留していないか定期的を確認し、貯留した場合はミルクング等を行うこと。
- 7) 排液を排出するとき以外は、排出口にキャップを付けてポケットに収納しておくこと。

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 胸腔部等の圧力差が必要な部位の排液の除去には使用しないこと。
- 2) 患部より高い位置で使用しないこと [排液が逆流する可能性がある]。
- 3) 定格容量を超えて使用しないこと [接続部から漏れを引き起こす可能性がある]。
- 4) 外部から衝撃、過剰な力を加えないこと [漏れの原因となる可能性がある]。

2. その他の注意

- 1) 使用前に、汚れ・破損・変形等を点検すること。
- 2) 本品の目盛は目安のため、正確に計量する場合は他の容器に移し替えること。
- 3) 使用中はチューブの引っ張り、ねじれ、折れ曲がり、身体の下敷きによる閉塞や圧迫がないように注意すること [チューブが破損したり接続部が外れる可能性がある]。
- 4) 流入チューブのたわみに注意すること [排液の詰まりが発生する可能性がある]。
- 5) エアフィルターに排液が付着した場合は本品を交換すること [排液が流れにくくなる可能性がある]。
- 6) 開封後は直ちに使用すること。いったん開封した場合は未使用であっても廃棄すること。
- 7) 使用後は感染防止に留意し、医療廃棄物として適切な方法で廃棄すること。

*【保管方法及び有効期間等】

滅菌有効期間: 3年 [自己認証(当社データ)による]

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: **村中医療器株式会社**
TEL: 0725-53-5546



製造業者: パシフィック ホスピタル サプライ社
Pacific Hospital Supply Co., Ltd. 台湾